

**仕事も家族も大好き！善光寺平のお客様を意識した経営で、
野菜苗・花苗・シクラメン・アールスメロンの生産を行っている
宮沢農園（長野市）の宮沢みえさん**

長野市で野菜苗、花苗、シクラメン、アールスメロンの生産を行っている宮沢農園の宮沢みえさんにお話をお聞きしました。

長野とは何かしら縁があったようで、祖父母が上伊那で兼業農家をされており、大学の時には八ヶ岳の山小屋でアルバイト、就職してからも松本で勤務されたとのことでした。



代表で夫の宮沢裕一さんとの結婚を機に就農したそうですが、就農してみてよかったことは、育児に関して義理のご両親の協力を得ながら、子育てと仕事の両立ができています。

子育てだけ、仕事だけだったら色々煮詰まったりして、企業に勤めていては両立はできなかったのでは・・・と。

特に、ご家族に認められるなか、仕事の内容や時間を自分で決められる（やりくりできる）ため、やりがいがあるとのことでした。

ただ、どうしても自分の時間がなかなか持てない毎日のため、一番下のお子さんを保育園に預け始めたとおっしゃっていました。

（たとえ少しでも自分に使える時間があれば、ストレスが軽減され、仕事も子育てもゆとりを持ってできますもんね！同感です！！）

また、都会では子供にとって危険なことや誘惑などが多く、都会で子育てをやる自信がなかったそうです（笑）。

宮沢農園では直売を行っており、みえさんが接客好きなことから、その部分もよかったそうです。

初めてうかがった私たちにも、気さくに応対していただきました（嬉）。

農業女子の仲間はNJ北信という組織に参加しているそうです。

メンバーは40名程おり月一で定例会（懇親会？）があるそうですが、この会の良いところは、何か企画したいことがあればやりたい本人が声を上げ、賛同する仲間で行うというスタイルで、年間行事や役員など重荷になる部分がなく、みえさんいわく「緩い感じ」が良いそうです。

また、『女性農業次世代リーダー育成塾』（農林水産省補助事業）を受講したこともあり、その時に知り合った農業女子の仲間が全国にもいるそうです。

（みえさんのお人柄が、周りの人を惹きつけるのだと感じました！）

そこでは農業経営関係の話だけでなく、参加者の嫁ぎ先の県民性や女子ならではの色々な話がでたそうで、嫁ぎ先が長野で良かった！（笑）という話題も。

5人のお子さんがおられ、お子さんに何かお手伝いは頼んでる？という質問には、「タ

ダではなかなか・・・。お小遣いの額次第かな」(笑)と。

でも直売の忙しい時期は理解して手伝ってくれるそうです。

子供はあっという間に大きくなってしまうので、今のうちに子どもと一緒にいられる時間を大切にしたい、仕事だけでなく家族との時間も大切にしたい生活(経営)を考えたいとのことで、サラリーマンと違い平日に連続した休暇が取れるので、年1回(農閑期)は長期の旅行に行くのが楽しみだそうです。

得意な料理は?の質問には、もっばらいただく方だと謙遜しておられました。(インタビューなぜかこの答えに大きくうなずく。)

今後についてお聞きすると、宮沢農園で栽培している品目は産地を形成している品目ではないので、身近なお客さんを大切にするため、アールスメロンも直売の品目に加えるなど、直売に力を入れていきたいとのことでした。

宮沢農園の名刺には「善光寺平周辺の皆様と共につくる喜びを味わえる農家であり続けたい!」と記されており、そのバックボーンに宮沢家の温かな家族があり、文字通り、地元のお客さんを大切にしたいとする、経営の方向性がはっきりと分かるキャッチコピーだと思いました。

お忙しい中、明るく丁寧な対応をいただいたみえさんに感謝申し上げ、益々のご活躍をお祈りします。

